

図表 6-5-4 ケース D の支援経過

経過 月数	ケース D			
SFA 項目	支援者との関係	生活リズム	病気・障害の理解	
1-3 ヶ月	安定した生活リズムの保持 定期的通所と生活状況確認の ための週 1 回訪問		幻聴の認識ないが、 服薬している	
	支援者をうるさいと思ってい ることも多かった			
4-6		定期通所して作業する ことを目標化		
7-9		定期通所できない		
10-12				
13-15	緊急時、近所とのトラブルに なる前に連絡するよう念を押 す			
16-18			幻聴の当事者会に参加	
19-21				
22-24		定期通所はできない が、調理関係の得意 な作業は頼むと快く 引き受けてくれる。	当事者会(幻聴の会) は、障害理解はして いないが楽しみで毎 回参加。定期通所は できないが、調理関	
25-	緊急時、まず事業所に電話を掛 けてくる関係は維持できて、ト ラブルなく生活できている。		係の得意な作業は頼 むと快く引き受けて くれる。	